

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍応援事業	子育て支援課	応援チーム(NPO法人にこっと)に利用者支援事業など業務委託をし、女性の活躍応援につながる講座を開催した。	—
	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信	子育て支援課	子育て応援情報サイトで発信する情報を充実させ、女性活躍応援拠点(さんにいれ)では、SNSを活用した情報発信を実施。	—
	病児保育事業の実施	子ども未来課	事業所が行った病児保育実施施設整備に対する補助を実施。	令和5年度に整備した病児保育実施施設において病児保育事業を実施。
	多子世帯支援策の強化	産業課 都市計画課 子育て支援課 健康推進課 学校教育課 防災交通課	多子多胎世帯子育て支援事業として以下の事業を実施 ・コミュニティバスの無料乗車券を配布(多子世帯) ・定住促進サポート事業における補助額加算(20万円) ・産後ケア事業 ・乳幼児健康診査付添支援事業 ・お米配付 ・幼保小中の給食費無料化及びアレルギーにより給食を食べられない子どもへの給食費相当額の補助金支給(多子世帯) ・4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診での付添支援(多胎世帯)	—
	産後ケア事業の開始	健康推進課	・助産師が訪問し、産後における疑問点や問題点についての相談対応や、母乳マッサージなどのケアを行う訪問型産後ケアを新たに開始。 ・ショートステイ(宿泊型)の継続実施。	産後ケア事業の通所型を開始予定。(自己負担あり)
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設整備	子ども未来課	・床暖房の導入や段差解消といった未満児保育室の改修 ・改定した子ども未来園整備10ヶ年計画に基づいた、老朽化した園の整備・改修	—
あらたな商業立地を積極的にすすめます	橋爪・五郎丸地区での道の駅エリア整備	都市計画課	道の駅エリア整備内容の再検証し、道の駅整備を白紙とした。	整備方針を道の駅整備から市街化区域への編入に変更し、まちづくりを進める。
	幹線道路への商業施設誘致	産業課	不動産事業者や出店希望事業者との意見交換にり、情報の収集や提供を行い進出を促し、3店が新たに操業を開始	—

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
住環境（インフラなど）を整えます	重要な幹線道路の整備(富岡荒井線など)	整備課	蟬屋長塚線の基本設計	蟬屋長塚線の予備設計に着手する。
	地区計画に基づく道路整備	整備課	道路整備に向けた用地買収を進め、道路改良工事を実施	—
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕	土木管理課	・地元要望に基づいた道路舗装・側溝・安全施設の補修、街路灯の設置・修繕等を実施。 ・施設の劣化が広範囲に及ぶ路線は改修計画を作成し、計画的に改修を行い、市道犬山公園小牧線、市道富岡荒井線等路線の舗装改修工事と市道犬山214号線等3路線の道路側溝改修工事を実施。	令和6年度は市道犬山公園小牧線、市道犬山27号線等5路線の舗装改修工事、市道犬山150号線等2路線の道路側溝改修工事を予定。
	移動支援方法の検討(地域住民の「足」の確保の検討)	防災交通課 高齢者支援課	・コミュニティバス事業の継続実施。 ・公共交通計画を策定、バス路線の再編。 ・高齢者タクシー料金助成事業の継続実施。	高齢者タクシー料金助成事業において、従来の85歳以上の人から対象者を75歳から84歳までの方で、自動車運転免許を持たず、住民税非課税の人を追加する。
	宅地開発による道路整備の一部を補助	都市計画課	宅地開発による道路整備の一部補助	—
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供(空き家バンク)による情報発信	都市計画課	空き家所有者への継続的な空き家バンクへの掲載周知	—
	借主改修型(DIY)空き家事業の活用・啓発	都市計画課	関係機関と協力して活用可能な物件を検討するとともに、セミナーに参加し事例研究を行った。	—
	空き家に関する相談窓口のワンストップ化	都市計画課	空き家に関する初期指導や活用相談を受ける窓口の運用	市の事業以外でも市民に有益な情報をホームページ等に掲載しさらなる周知を行う。
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	ふるさと定住促進サポート事業	都市計画課	予算上限程度の申込があり、対象者に対して補助金を交付した。	対象住宅を既存住宅に限定する予定。
	働きて定住促進サポート事業	都市計画課	予算上限程度の申込があり、対象者に対して補助金を交付した。	対象住宅を既存住宅に限定する予定。
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用	都市計画課	令和4年度に計画認定を行った案件について、認定に基づいた建築許可を実施。	—
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖が実施している木曽川沿いの竹林整備や地区の魅力を伝えるイベント(収穫体験祭等)の側面的支援 ・木曽川河畔(内田地区)の活性化を図るため、利活用の可能性調査、実証事業、関係者による意見交換、現況測量等を実施し、具体的な活用プランの作成及び活用プランをもとにした基本構想の策定。 ・内田地区住民と河畔に必要な機能を検証するための実証事業や意見交換会(ワークショップ)等を実施。 ・鵜飼観覧・遊覧を充実させるため、本市が所有する屋形船(若あゆ丸)の改修を実施。 ・遊覧船事業は継続して木曽川観光(株)と連携し、オフシーズンの遊覧船運航を行い、高級船による遊覧事業の商品化を実現した。	基本構想に基づき、必要な機能を把握し検証する為の実証事業の実施や地域住民との意見交換、及び地域住民による河畔利活用の検討などを進める。 また、整備に際しては国との連携を図る必要から、かわまちづくり計画の策定に着手。令和7年度の完成を目指し検討を進める。

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の改訂と推進	環境課	・計画進行管理を継続実施。 ・年次計画の推進により得られた結果を、「犬山市環境白書」として作成。 ・市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指し、いぬやま環境サポーターを募集。	—
	省エネ支援の強化	環境課	個人・家庭での省エネ推進のため、住宅用地球温暖化対策設備導入（蓄電池、燃料電池システム等）、既存住宅省エネ改修（断熱リフォーム・高効率給湯機設置）、次世代自動車（電気・燃料電池自動車）購入への補助制度を実施。	蓄電池導入に係る補助金の上限額を5万円から15万円に増額。
	広域ごみ処理施設の整備	環境課	令和10年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して整備事業を実施。	—
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくれます	子育てと女性の活躍応援事業の実施（再掲）	子育て支援課ほか	（再掲のため略）	—
	介護予防事業の推進	高齢者支援課	フレイル予防の推進及びフレイル予防スクール内での体力チェック等を実施	—
	地域生活支援拠点整備事業	障害者支援課	・障害者等やその家族の緊急事態の対応として、拠点施設の機能である短期入所を活用した。 ・親亡き後に備え、生活の場を移行するため、共同生活援助での体験機会を提供した。	—
	多文化共生の推進	多様性社会推進課	・外国人相談窓口の設置 ・外国人実態調査 ・コミュニティ通訳者の育成と行政窓口通訳、及び書類翻訳 ・就学前や学齢期に合わせた日本語教育や、日本語教室の開催。	・外国人向け情報の発信 ・（仮称）多文化交流マルシェの実施
	健康市民づくりの推進	健康推進課	・第3次みんなですすめる犬山健康プラン21及び第2次自殺対策計画策定のためのアンケート調査、タウンミーティング等の実施。 ・フレイルチェック票を活用したセルフチェックと予防支援のための講座等の実施。 ・フレイルの周知啓発、早期発見のためのアイフレイル・オーラルフレイル健診の実施。	—
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援	高齢者支援課	第1層生活支援コーディネーターを中心にサロンの世話人交流会や第2層協議体の交流会を開催し、地域間での情報交換を行った。	—

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
安全・安心に暮らせるまちをつくれます	通学路安全（路側帯のカラー舗装など） 対策整備	土木管理課 学校教育課	・「犬山市通学路交通安全プログラム」で公表している対策予定箇所と実施計画に基づき、市道犬山富士線など4箇所において、グリーンベルトやカラー舗装などの整備を実施。 ・学校からの要望のうち、新たに対策予定として10箇所を追加。	「犬山市通学路交通安全プログラム」で公表している対策予定箇所と実施計画に基づき、グリーンベルトやカラー舗装などの整備を進める。（令和6年度：市道富士本線など4箇所を予定）また、プログラムに追記された要対策箇所について整備計画を策定する。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援	防災交通課	防犯・防災に対する補助事業を複数実施	—
	災害対策、非常時の体制整備	防災交通課	地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整えた。	—
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用（手続きのオンライン化、 キャッシュレス化）	情報政策課	オンライン申請（あいち電子申請届け出システム）による手続きの拡充	オンライン申請（あいち電子申請届け出システム）手続きを拡充し、令和7年1月から新しいオンライン申請システムを導入予定。
	手続きの簡素化	全課	・あいち電子申請システムを利用したオンライン申請の実施 ・市ホームページに掲載の「犬山市専用請求書」の様式を、より使いやすいよう新し、インボイス制度対応型とした。	電子申請ができる手続きの種類を拡充予定。

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④令和5年度以降取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
犬山らしい教育をすすめます	読解力向上推進	学校教育課	・「犬山読解力テスト」の内容を見直し、実施。 ・犬山読解力を育む授業について市内各校で研究を進め、実践の質的・量的向上を図った。	－
	図書館改革	学校教育課 (文化推進課)	・図書館コーディネーターを推進拠点校に配置し、読書推進の指導・調整を行うとともに、そのノウハウを他校へ広げ、豊かな読書を促す実践を市内全校で実施した。 ・市立図書館の学校連携司書によるイベントを計画し、市内全校で特色ある読書推進の取組みを行った。	－
	学校施設の計画的な改修	学校教育課	・犬山南小学校改築工事 ・東小学校非構造部材改修工事 ・特別教室空調設備設置工事設計	－
がんばる企業と新たな起業を応援します	後継者バンク創設	産業課	事業者の事業承継を支援するため、市が委託する中小企業診断士の助言を受け、経営計画を策定し、計画の実行に必要な経費を助成する制度を実施。相談から計画実現までの支援を市の制度としてワンストップで行う。	事業承継の相談を専門とする「愛知県事業継承・引継ぎ支援センター」へつなぎ、具体的な承継計画を策定できるよう、制度の改良を行う。
	企業のマーケティング戦略の支援強化	産業課	新商品の開発、業態変換等を支援するため、市が委託する中小企業診断士の助言を受け経営計画を策定し、計画の実行に必要な経費を助成する制度を実施。相談から計画実現までの支援を市の制度としてワンストップで行った。	－
新たな地域ブランド開発を応援します	新たな特産品の開発支援	産業課	商工会議所の活動への支援を実施	－
	特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦	産業課	・犬山市特産品協会と連携し、市外での特産品のPR。 ・犬山城下町まちづくり協会や犬山まちづくり株式会社等と連携した地域の特色を生かしたイベントの開催。	－
	新たに開発・商品化した事業者に対する販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)	産業課	農産物等付加価値向上補助金により、農業者に対し、自然薯加工食品の開発、犬山産ワインのPR資材等制作の支援を実施	これまでの農産物等付加価値向上補助金を改善し、6次産業化支援に加え、新たに地域の特産農産物(桃、二の宮みかん、自然薯等)の生産拡大等に係る支援も可能となる「農産物等ブランディング推進補助金」として実施する。
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致	産業課	不動産事業者や出店希望事業者との意見交換により、情報の収集や提供を行い進出を促し、1社が新たに操業を開始した。	－
	企業再投資促進	産業課	企業再投資促進補助金により市内企業へ補助を行い、設備投資を促進した。	－
農業でがんばる人を応援します	耕作放棄地対策	産業課	荒廃農地等利活用促進事業補助金の活用により0.8ヘクタールの農地が耕作再開した。	－
	農業の担い手育成	産業課	新規就農支援補助金により、農業を開始する者8名に対し、必要な農業用機械等の導入経費を支援し、新たな農業の担い手の確保を図った。	－

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④令和5年度以降取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
シェアリングエコノミーでスキルを活用	シェアエコの普及活動	企画広報課	シェアリングエコノミーについて、ホームページによる周知を実施。	—
	シェアエコを活用した地域課題の解決	企画広報課	・駐車場シェアにおける市ホームページでの周知 ・シェアリングエコノミーの取り組みを進める民間団体等と連携し、地域課題の解決を図った。	—
文化・スポーツで活躍・交流できるまちへ	社会教育施設の修繕	文化推進課	・開館当初から使用しているキュービクル式高圧受電設備の更新工事や老朽化した汚水排水管の改修工事等を実施し施設の長寿命化を図った。 ・利用者の利便性向上のため、児童室及び視聴覚ブースの改修工事を実施。	老朽化した自動扉や故障した空調設備の修繕を実施し施設の長寿命化を図る。
犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携	連携事業候補の洗い出し	全課	・名古屋経済大学と連携し、消防団員募集啓発事業を実施。 ・持続可能な観光地まちづくりの実現を目標に、犬山商工会議所、犬山まちづくり株式会社、犬山市観光協会、犬山市の4者からなる「SDGs観光まちづくり会議」を開催し、課題共有、改善・解決に向けた取り組みを検討した。 ・商工会議所会員を対象とした健康づくりセミナー、振興祭、商工会議所健診等を協力して実施。 ・名古屋経済大学栄養学科の教員に食育推進関連会議の委員として事業の協力、助言を受け、市民向け健康講座の講師として協力を得ている。	名古屋経済大学との災害協定の検討 令和5年度にSDGs観光まちづくり会議を立ち上げ、頻度高く開催し議論を進めている。取り組み事例として、事業者同士の交流の機会や繋がり場を設定することも持続可能な観光まちづくりに資するものと考え、防災に関するワークショップや事業者間交流会などを開催する。 さら・さくら健康まつりの食育コーナーにおいて、名古屋経済大学の教員及び学生の協力をえて事業を実施する。
	リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施	企画広報課	金融機関や大学等と連携したプロジェクトの検討を進めた。	—
みんなで地域力UP！にチャレンジ	地域の課題解決支援事業	地域協働課	地域住民による地域の課題解決に向けた取り組みが注目されており、モデル地区を選定し、取り組みの支援「地域の課題解決支援事業」を実施事業の募集を実施	—
市民が主役のまちづくりをすすめます	協働プラザの整備・運営	地域協働課	委託事業者のプロポーザル時の提案事項に基づき、協働プラザの運営事業を実施。	—
	市民活動支援施策の推進	地域協働課	関係条例の趣旨に基づき、市民活動助成金等の見直しを実施。	—
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化	地域協働課	協働プラザにて担い手育成に関する講座(開催回数3回、参加者数延べ36名)を開催	—
	協働のまちづくり基本条例の推進	地域協働課	条例の趣旨や目的を周知、浸透させるため、ホームページ等による周知を実施。	—
	市民活動支援条例の改正	地域協働課	条例の趣旨や目的を周知、浸透させるため、ホームページ等による周知を実施。	—
	”活躍の場”づくり(フューチャーセッション)	地域協働課	全5回開催、延べ105名が参加。	—
	地域資源バンクの活用	地域協働課	・地域資源を63件登録し、うち36件のマッチングを行った。 ・地域資源バンクの運用、シェアリングエコノミーによる活用	—

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④令和5年度以降取り組んだ[取り組む]内容	
			令和5年度取り組んだ内容	令和6年度に取り組みを変更する内容
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信	企画広報課	・広報紙の発行回数を月2回から月1回へ変更 ・全誌面フルカラー化 ・町内会を通じての配布から、民間事業者による全戸配達への変更。	令和5年度に実施した「全戸配達、月1回発行、フルカラー」の特徴を活かし、市民に親しみのある、必要な情報が分かりやすい広報紙へのリニューアルを実施予定。
	シティプロモーション強化事業	企画広報課	過去に作成したPR動画を活用したYouTubeでの動画広告やX等のSNS広告を実施。	—
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の策定と推進	観光課	・犬山市観光戦略内の8つの重点プロジェクトをはじめとする施策を順次実施。 ・犬山市観光戦略会議を開催し、業務の見直しや検証を実施。	—
	観光×〇〇事業	観光課	・体験型観光メニューの造成支援（担い手、利用者の募集）及びシェアリングエコノミーを活用した仕組みづくりによる観光コンテンツの普及・拡充。 ・大河ドラマと連携した特別御城印の作成、大河ドラマ鑑賞会、パネル制作、パネル展示等の実施や独自のコンテンツ開発（犬山城早朝開城、花手水の実施等）を実施し、様々な主体との連携による観光コンテンツの拡充を進めた。	—
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備（栗栖地区）	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖の活動の側面的支援を実施 ・木曽川上流河川事務所や地元団体と調整し、拡張利用の整備と利活用の手法（区域指定）の検討などを実施。 ・栗栖園地南側の活用を目的に、愛知県の補助金を活用し地元住民の協力を受けながら延べ約3,510㎡の芝貼りを実施。	—
	地域の魅力づくりと発信（栗栖地区）	企画広報課 観光課	ミラマチ栗栖による地域の魅力を発信するイベント（収穫体験祭等）の側面的支援を実施。	—
	飲食・物販やイベントなどを通じたにぎわいと地域活力の創出（内田地区）	観光課	8月1日～10日の日本ライン夏まつりロングラン花火の開催にあわせて、犬山朝市協同組合等の関係者と連携して「宵のいぬやMARCHE」を実施。	—
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂	歴史まちづくり課	『犬山市史平成編』の資料編の刊行に向けた平成の犬山に関する資料を収集・調査及び執筆作業を実施。	—
	文化財保存活用地域計画の策定	歴史まちづくり課	・「犬山市文化財保存活用地域計画」について、文化庁の認定を受けた。 ・市内の歴史文化資源の保存・活用に関わる団体が交流、連携強化を図る場として、「犬山歴史文化ぷらっとフォーム」を立ち上げた。	—
	（犬山城）城山などの史跡整備	歴史まちづくり課	遺構の保存や眺望に影響を与える樹木の剪定・伐採	—